

FMCでVoIPコールの新しいSIP接続イベントが表示されない（ 予期された動作 ）

内容

問題

VoIPコールのSIPトラフィックは、着信コールと発信コールが正常に完了しているにもかかわらず、Cisco Secure Firewall Management Center(FMC)で新しい接続/統合イベントとして表示されません。

これは、モニタリングとトラブルシューティングの表示にのみ影響します。コール機能には影響しません。

環境

- 製品：Cisco Secure Firewall
- プロトコル：SIP over TCP
- ポート：TCP 5060

解決方法

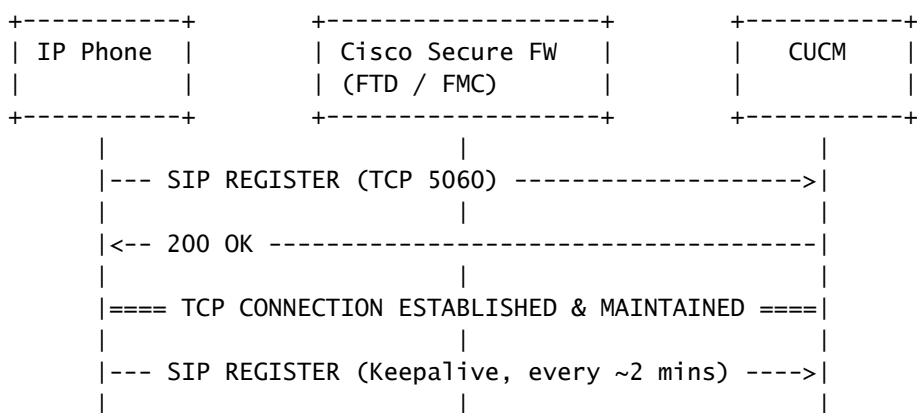
不具合や設定の変更は必要ありません。

- これは、SIP over TCPの通常の予期されるファイアウォール動作です。
- 新しいSIP接続イベントが表示されるのは、既存のSIP接続が手動でクリアされた場合、またはTCPセッションが自然にタイムアウトした場合（キープアライブによる一般的なイベントではない）だけです。

- パケットキャプチャと機能コールテストにより、トラフィックが正しく通過していることが確認されます。

原因

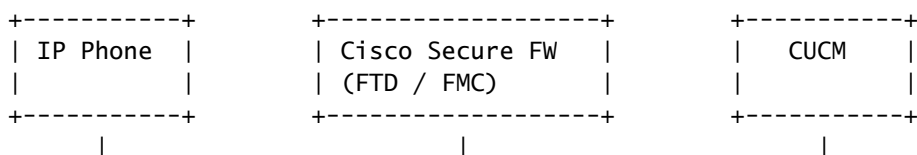
ハイレベルSIPコールシグナリングフロー



結果

- 単一の長時間持続するTCP接続が作成されます。
- FMCは、TCP 5060の接続イベントを1つログに記録します。
- 定期的なREGISTERメッセージによって、接続が有効に保たれます。

SIP INVITEを使用したコールセットアップ (同じTCPセッション)



```

|--- SIP INVITE ----->|
|                               |
|<-- 100 Trying / 180 Ringing -----|
|                               |
|<-- 200 OK -----|
|                               |

```

要点

- SIP INVITEは、既存のTCP 5060セッションを使用します。
- 新しい送信元/宛先IPまたはポートはありません。
- 新しいconnection-startイベントは生成されません。

SIP over TCPでは、次の動作が予想されます。

- SIP電話機は、SIP REGISTERメッセージを定期的に（2分ごとなど）送信します。
- これらのREGISTERメッセージにより、ポート5060でのCUCMへの長寿命のTCP接続が作成されます。
- コールのSIP INVITEメッセージは、既存のTCPセッション（同じ送信元/宛先IPおよびポート）を再利用します。
- ファイアウォールは接続ベースであるため、トラフィックが既存の接続に一致しても、新しい接続開始イベントは生成されません。
- TCPキープアライブは接続のタイムアウトを防止するため、接続テーブル内でアクティブのままになります。

関連コンテンツ

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。